

株クロダは

プレス金属・ゴム金型
プラスチック成形金型の
部品や機械工具・切削工具
砥石など多岐に渡る
自社製品を有する
工具メーカーです

私は商社で流通・営業を
学んだ後入社しました

区内ゴム産業を下支えする、国内唯一の
標準化されたゴム金型部品
～ CPC ゴム金型部品 ～

株式会社 クロダ

作 門脇英治

黒田 悦朗 社長

当初は昭和22年に
祖父が
黒田金物店として
スタート

その後
高飾を中心とする
城東エリアの町工場に
ご愛顧いただく
工具店へと成長
さらに
工具メーカーへと
商人から
ものづくりへ
シフトチェンジ
しました

その原動力と
なったのが
2代目社長の
私の親父です

私は
人の作ったものを
売りたいくない

よしひろ
黒田 悦弘 先代社長

金物
名社
合會

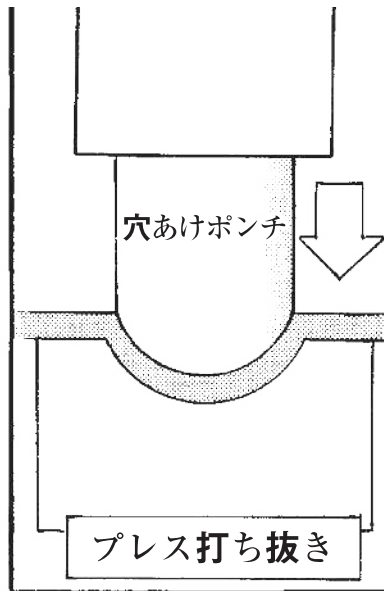
黒田商店

機械工具

自分で作って
値をつけて
売りたいんだ！

親父は
独学で技術を
習得して
研磨機一台から
スタートしました

多くの町工場を擁する
葛飾区の中でも特に
金属プレス屋は多く

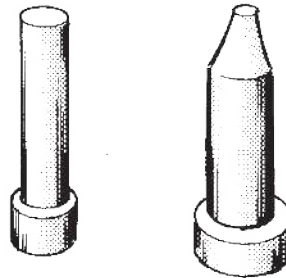


ピンが折れたり
摩耗したりする際
その修理を請け負い
ました

ピンの規格の
標準化ができれば
効率よく部品を
作れるのに…

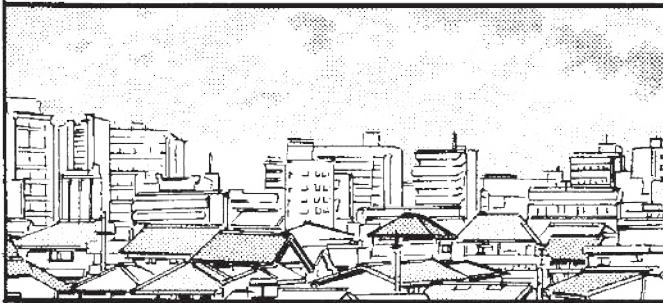


しかし
依頼先ごとに
ピンの大きさが
マチマチ



そのつど
一つ一つ
ハーフ・オーダー
で作っていった
のです

親父の
その思いは
別の形で
開けていきます



バブルの崩壊や
メーカーの
海外進出により
金属プレス金型が
下降線をたどって
いく中で

※
葛飾は
ゴム金型工場
ゴム成型工場もまた
数多く



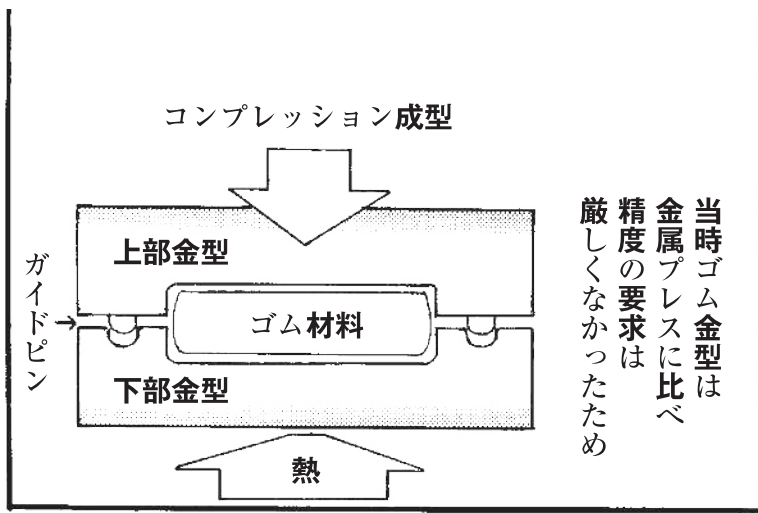
ある時
ゴム金型屋で
ゴムのピンを見て…



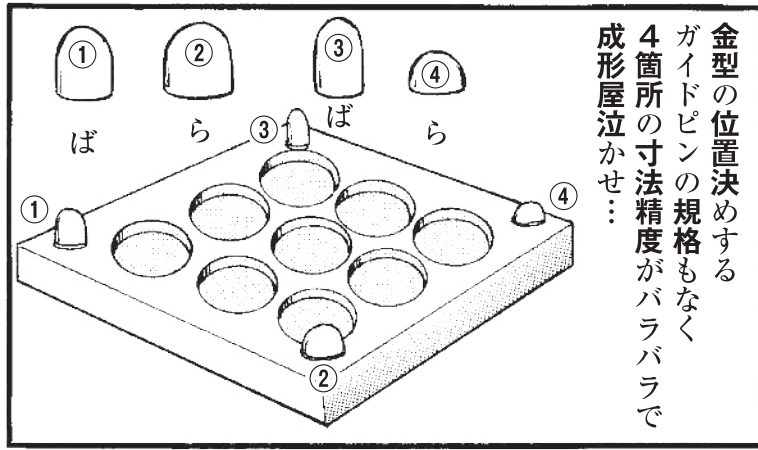
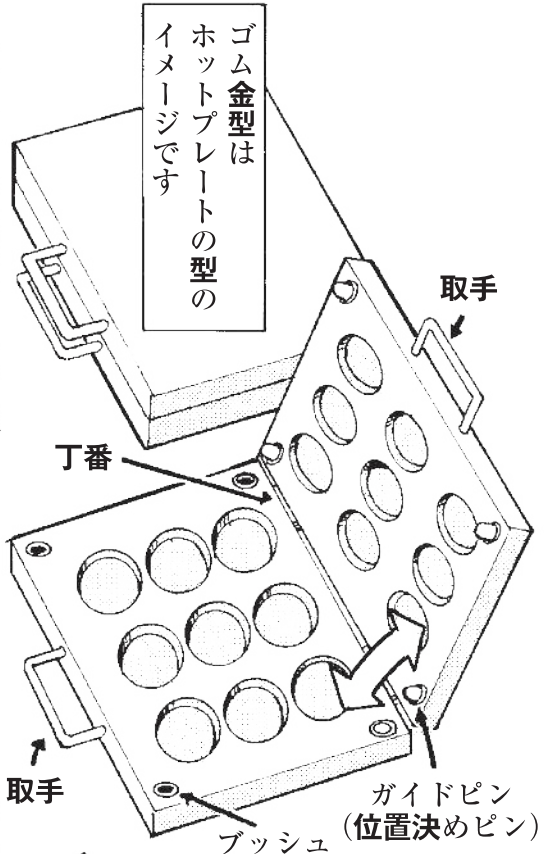
これだ！



※ゴム製品製造工場数は23区の中で1位
(平成24年経済センサス活動調査による)



当時ゴム金型は
金属プレスに比べ
精度の要求は
厳しくなかったため



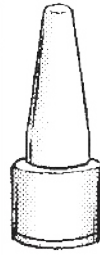
よしっ！
ゴム金型部品を
標準化して
地元の町工場に
貢献しよう！



そして平成11年に ゴム金型部品の標準化！「クロダ規格」

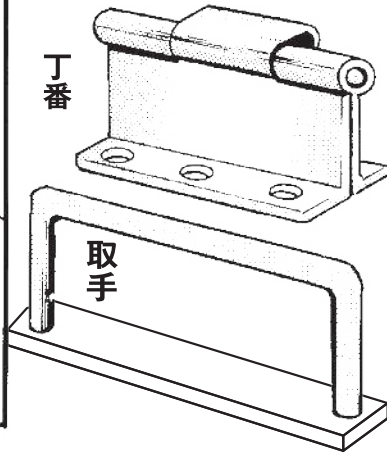
※プレス加工については外注しています

位置決めピンは
プレスされたピンを活用して
自社で切削・研磨



位置決め
ピン

丁番・取手は
金型を自社製作し
曲げや穴あけは自社で
(※一部外注)

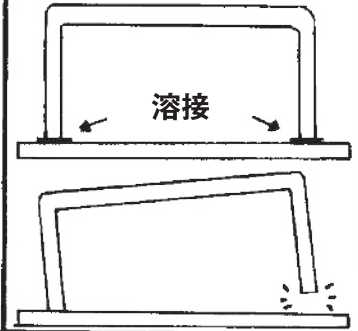


しかし
親父の取手への
こだわりは
ここからが
真骨頂でした

まだまだ
納得いかない



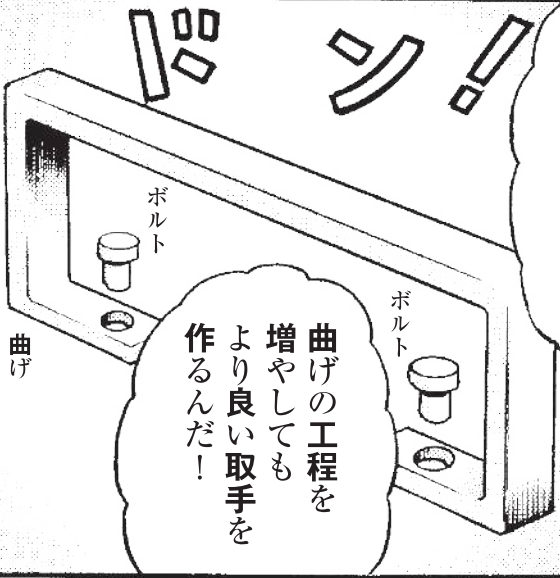
溶接すると
どうしても
強度が不安に
なるし
溶接のコストが
かかる



そうだ！



だったら
一体化しちゃおう！



曲げの工程を
増やしても
より良い取手を
作るんだ！

人が直接
触れるものだから
大きさや持ち触りを
よくしたい

ガンが発覚して
体調が悪化する
にもかかわらず
頭のなかは取手で
いっぱいだ



もっと
もっとよく...

楕円だ！

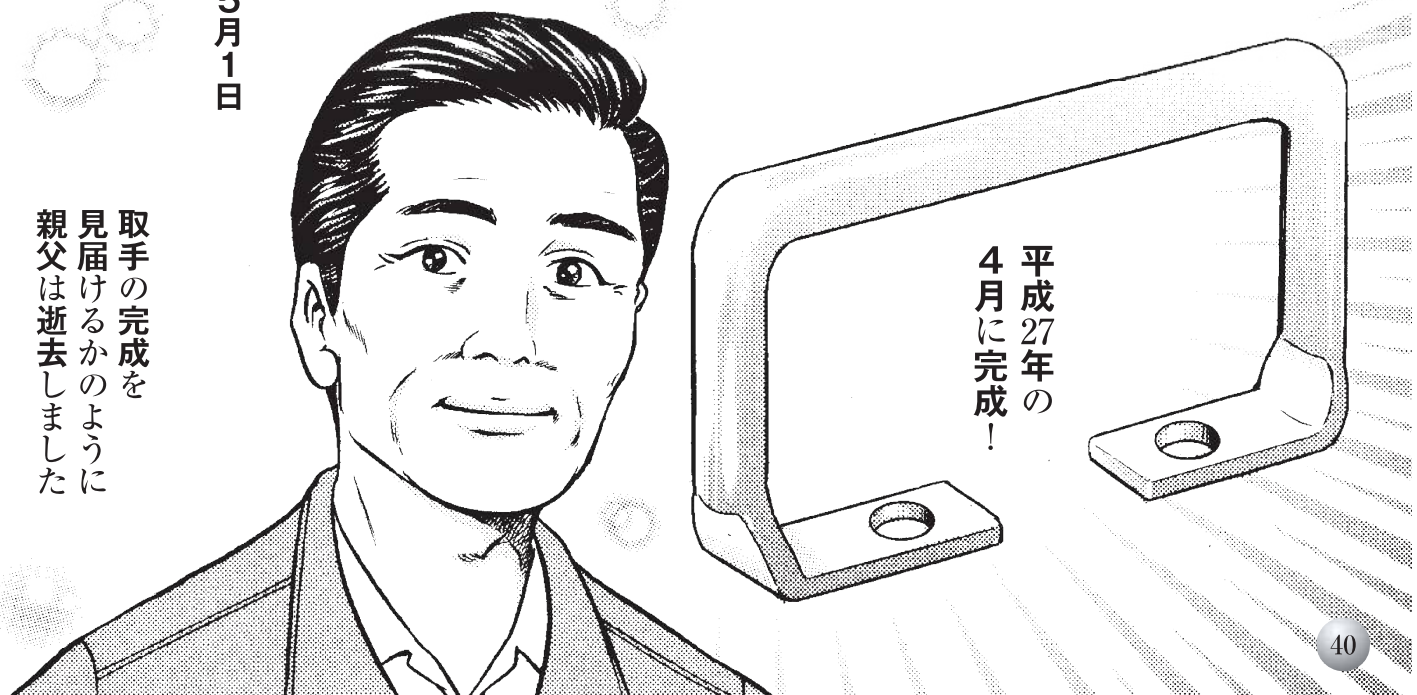
これなら
持ちやすい！

曲げやつぶしに
技術を要するが
使う人には
とってもいい
取手だろ！





5月1日





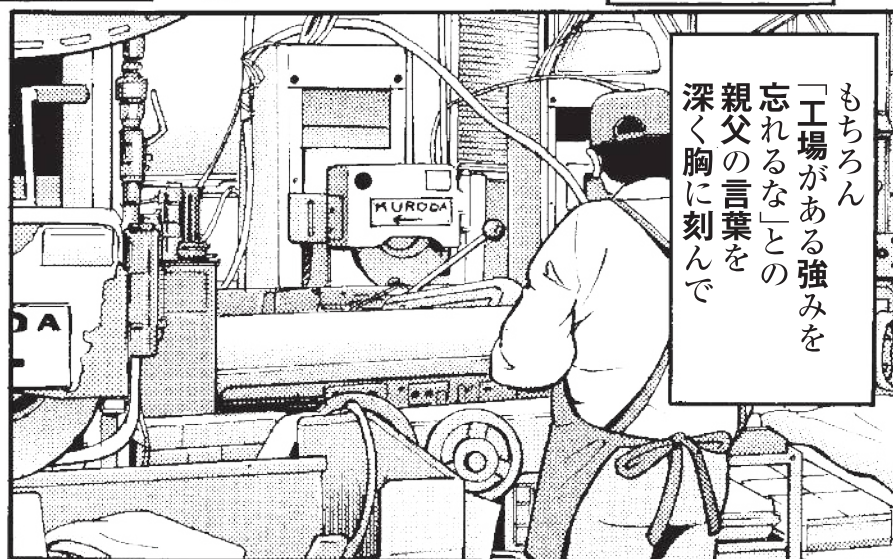
ネットを活用する
展開や展示会にも
力を入れていきます

地元中心に知られている
「クロダ規格」の
さらなるアピールの
手段として



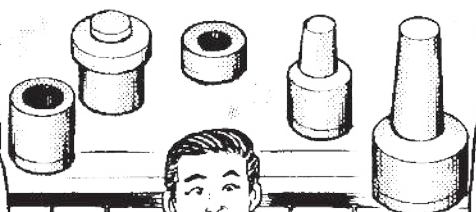
国内で唯一の
「ゴム成型部品の標準化」
「クロダ規格」の実績に
よって

現在
葛飾や墨田を中心に
約80社の
ゴム成型金型メーカーや
顧客があります



もちろん
「工場がある強みを
忘れるな」との
親父の言葉を
深く胸に刻んで

これによって
九州や長野の
大手企業から
注文を受けた事も
ありました！



その上で
私が商社で培った
流通や営業の
ノウハウを活用して
新たな「クロダ」の
ものづくりに取り組んで
いきます！

「クロダさんなら
やってくれる」という
声を大切にして
地元の中小工場
のお役にたつ！
この姿勢は
これからも
変わりません！

